

平成20年8月5日  
南海電気鉄道株式会社

国際カエル年イベント第2弾！！



# みさき公園で「かえるの学校・みさき分校」を開催します！

夏休みの自由研究などにおすすめです

南海電鉄（社長：亘 信二）が経営する「みさき公園」（園長：川尻龍二／大阪府泉南郡岬町）では、国際カエル年に関する第2弾イベントとして、8月10日（日）に「かえるの学校・みさき分校」を開催いたします。普段なかなか聞けないカエルの話を講師が分かりやすく講演しますので、どなたでも気軽にご参加いただけます。

またこの夏休み期間中は、現在開催中のメモリアル資料館内「もぐもぐぶりぶり展」の中の「2008 カエル年コーナー」に、講師の芝野氏提供の写真パネルを増設しており、さらに充実した展示内容となっています。夏休みの自由研究などに、ぜひご活用ください。

なお、同イベントの第1弾として、6月6日（金）にカエルの日を記念し、カエルの写真やイラストを入園ゲートで係員に提示すれば入園が無料となる「“カエルさん”入園無料Day」イベントを実施しました。約45人の来場者があり、好評をいただきました。

詳細は別紙のとおりです。



増設したカエル年パネルコーナー  
（メモリアル資料館内）

1. イベントタイトル

かえるの学校・みさき分校

2. 開催日時

平成20年8月10日(日)14時~14時45分頃まで

3. 開催場所

みさき公園カルチャールーム

4. 参加費

無料

みさき公園入園料(おとな1,000円 こども500円)は別途必要です。  
事前申し込みは不要です。当日は満席になり次第、締切らせていただきます。

5. 内容

講師に『WATMS 代表 世界のかえる博物館 館長 ミカエル芝野氏』を迎え、「カエルの学校・みさき分校」というタイトルで、算数(生息数など)・理科(古代のカエルやカエルの骨格について)・国語(カエルの名前など)の授業に見立てた講演内容で、カエルが減っている現状やその原因となるツボカビ、食物連鎖のことなどについて、映像などを交えてわかりやすくお話ししていただきます。

6. 講師について

講師のミカエル芝野氏は三重県名張市にある「世界のかえる博物館」の館長であり、カエルの保護活動を進めている「WATMS・Jamboree」の代表でもあります。

「WATMS・Jamboree」とは World(世界)Amphibian(両生類)Toasty(暖かく快適な)Medium(生活環境)Save(守る)Jamboree(陽気に騒ぐ会)の頭文字をとったもので、芝野氏や動物園・水族館関係者で「2008 カエル年」の様々なイベントを行っています。

7. 国際カエル年についてと開催の目的

現在、カエルを含む両生類は、ツボカビによる感染症である「ツボカビ症」などの影響で、世界レベルで絶滅が危惧されていると言われており、世界動物園水族館協会(WAZA)と国際自然保護連合(IUCN)などが「両生類の箱舟」(Amphibian Ark)プロジェクトを展開。そして、同プロジェクトがこのことを世界の人々に知ってもらおうと、2008年を「国際カエル年」と決めました。

当園ではこれを受けて、カエルの保護活動に賛同し協力することと、子どもたちに学習の場を提供し理解を深めてもらうことを目的とし、開催に至りました。

以上